

テーマ

日本の無子高齢化

適用分野

子育て支援・保育政策・就労支援 若者雇用問題・家事育児の男女分担



研究名称

なぜ少子化が進むのか・日本の未来を考える

氏名所属

前田正子 教授
マネジメント創造学部

内容

●**特徴**： 2018年の出生数は92万人弱となりました。一方死亡者は134万人と戦後最高を記録し、2018年に日本の人口は44万人減少しました。これは一日当たりになると1200人の減少です。なぜ日本はこれほどの少子高齢化が進んでいるのでしょうか。このままいくと日本の未来はどうなるのでしょうか。

●**研究内容**： 日本の子育てを巡る状況を調査しています。子育て支援や保育政策だけでなく、家庭内での育児や家事の分担なども取り上げています。しかし、少子化の一番の要因は未婚化の進展です。未婚化が進展したのは1990年代以降の若い世代の雇用の悪化があります。そこで、若者の雇用問題などもテーマにしています。

若い人たちが安定した生活を手に入れない限り、結婚や出産には踏み切れません。今の日本は、若者が希望を持てる社会でしょうか？

保育制度については『保育園問題』中公新書2017年、にまとめていますが、諸外国の子ども・子育てへの支援の状況などについても紹介しています。少子化の背景や日本の将来については『無子高齢化』岩波書店2018年にまとめていますが、若者の雇用の劣化状況や日本がなぜ効果的な少子化対策を講じなかったのかについても解説しています。また実は学校から就職に順調に移行し、その後も安定して仕事を継続しているのは、若者中では少数派です。若者の未来がない限り、日本の未来は築けないでしょう。



キーワード

子育て支援・保育政策・自治行政・若者就労支援・家事育児分担

連携方法

■ 講演 □ 研修 □ 研究相談 ■ 学術調査 □ コメント ■ 共同研究